児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

	公表:令和5年 2月 28日						配布数 8				回収数 8 事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール神戸王子		
		チェック項目	はい	どちらと も いえない	いいえ	無回答	はい	割合 どちらと も いえない	(%) いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制整備業務	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	3	5	0	0	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	- 副陳宝は少し咲いが迎見を外したり、運動遊びに配着したりしながら取り組んでいる。 ・使用したい遅具を外すなどしている。壁や角が近い時には、怪物助止のためマットを置いている。 ・参手権の人数や帽子に合わせて選具をいっしょに使ったり、遅異をはずしたりする工夫を行っている。 ・搬られたスペースの中、遅貫を延らす等して工夫している。	遊具に乗る時間が終わった後、遊具を外す対応を1月から取り組ん でおります。また、工夫している点にも記載させていただいてい るような取り組みを継続して取り組んでまいります。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%		・個性に合わせてカードや時計を提示して配慮をしている。 ・訓練室が小さいですが、先にすることを伝えたりして自分が何 に取り組めばいいかを分かりやすくしています。また、お子様同 士でやりたい活動がかぶった時はやりとりの練習も兼ねて一緒に 取り組んでいます。	お子さまの机に番号をふり、どの席かわかるようにしていることや、セッション内容もポードで確認できようにしております。情報伝達については、スクール内に掲示物を貼ったり、にこにこ通信等で情報発信をしたりしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動 に合わせた空間となっているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・労れている場所があればその場で開発などするようにしている。 ・毎日の海底に加え、選1級、月1回の重点排発行い海波な空間を維持している。 ・毎日のホールブールの消毒を定期的に実施している。カーテンやエアコンフィルターの清積も 行っている。 ・銀られたスペースの中、遅見を延らす等して工夫している。	遊具に乗る時間が終わった後、遊具を外す対応を1月から取り組んでおります。工夫しているところに記載させていただいているように、今後も工夫して取り組んでまいります。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参 画しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・セッションごとに振り返りを行い、意見を出し合っている。 ・セッションの後、お子さまのカンファレンスを職員間で行ったり、月に 1回のミーティングを通じてその都度振り返りをしています。		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所 の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を 踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その 結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所 の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・オンラインの選択式研修や、別のスクールに見学に行くことで 職員の素質の向上を図っています。		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
適	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・状況に応じて検査や質問紙を使用しています。		
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本 人支援及び移行支援)」、「常販支援」、「地域支 援」で示す支援内容から子どもの支援に必要を項目が 適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定 されているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・プログラム作成時に年間6か月、月間目標を確認し、支援計画 に沿った支援を心がけている。		
切な支援	13	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	を行っている。	工夫している点に配載させていただいているような活動や、スクール長とセッション内容の確認を毎回行っているため、そこで意見を伝え合いながらプログラムを作 成させていただいております。また、個別セッション級に職員がウンファレンス を行い、次のセッション内容の話し合い等をすることや個別支援計画の作成時にも 行っております。今後も継続して取り組んでまいります。	
の提供	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を 作成しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・グループ活動では役割分担まで確認できている。	朝礼やスクール長とのプログラム内容の確認時などに情報共有や 意見を伝え合いながら内容確認や分担を行っております。今後も 継続して取り組んでまいります。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎回記録をとり、児童の行動や支援内容に加え、自身の考察も 共有することで支援の検証、改善につなげている。		
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支 援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・参加されていると思う。	本年度はSEDスクール神戸王子内にて担当者会を開催いたしました。保護者様からのご要望により、参加・開催させていただいております。今後も継続して取り組んでまいります。
関	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者 や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
係機関や保護者	22	移行支援として、保育所や認定こども風、幼稚園、特 別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		保護者様からのご要望により、園訪問をさせていただいておりま す。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共 有と相互理解を図っているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		保護者様からのご要望により、学校訪問をさせていただいており ます。
との連	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・支援の必要な子どもに関しては都度他事業所と連携をとっている。	他事業所さんへの訪問や神戸大学や児童館等の研修等にも参加させていただいております。
携	25	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加してい るか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		瀬区の子ども部会には毎回参加させていただいており、情報交換をさせていただいております。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	2/1	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
保護	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
者への	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
説明責	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
任 等	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・個人情報の取り扱い方の研修を受けた後注意するようになりま した。	
		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとと もに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・防犯マニュアル訓練の実施はなし。	各種マニュアルはファイルに防犯マニュアルも格納しております。防犯訓練は必須ではありませんが、今後実施を検討してみたいと思います。
常時	35 1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
等の	⊰h I	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
対応	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		毎月ヒヤリハットと軽傷記録を本社に報告し、資料もスクール内に格約し ております。共有する時間としては、セッション後にヒヤリハットや軽傷 報告があった際には、報告するようにしております。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		